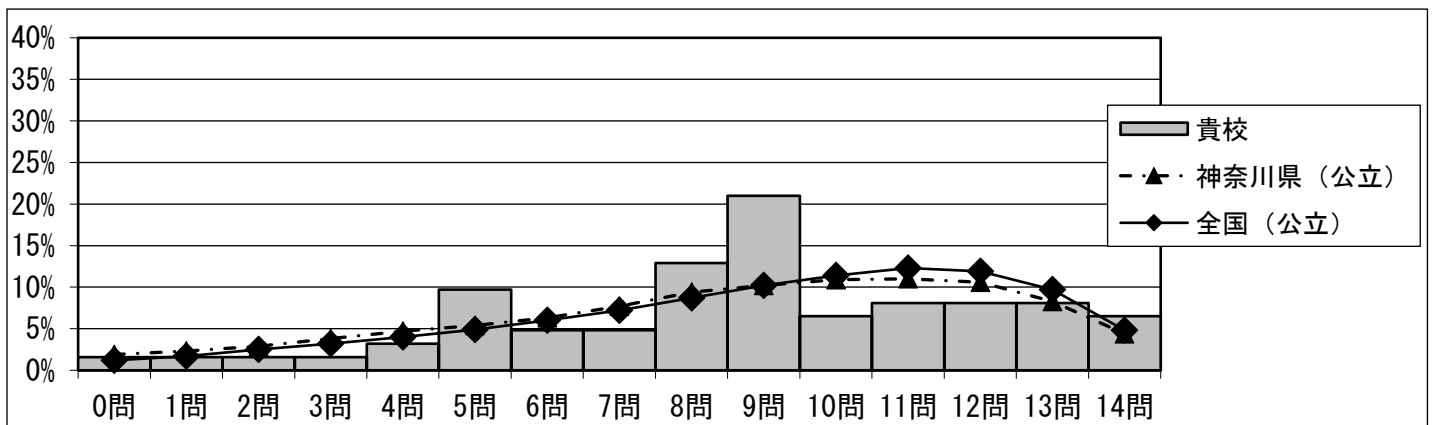


【国語の結果】

正答数分布グラフ 横軸 正答数 縦軸 割合



◇ よいと考えられる状況

- ・「読むこと」については、県や全国と比べ、やや高い正答率であった。
- ・「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む (正答率82.3%)」や「目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む (正答率90.3%)」では、多くの児童が理解できていることがわかった。

◆ 指導・改善が必要と考えられる状況

- ・「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く (正答率19.4%)」「話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる (正答率58.1%)」では、県や全国と比べ、やや低い正答率であった。
- ・「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」では、正答率が低い問題 (29.0%) も見られた。



これらの結果から、「書く」ことの指導の中で、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き方を工夫する指導を丁寧に行うこと、また、書いた文章を見直す習慣をつけ、既習の漢字を文の中で正しく使う力を付けていく指導が必要であると考えられる。

併せて、インタビューなどを行う際には、自分が聞きたい情報について、的確に質問したり、話し手の意図をつかみながら聞いたりすることを意識させ、自分の考えをまとめる力を高めていきたい。